

科目名 (科目番号)	コミュニケーション論 (081171)	教員名 石垣 明子	学科等	理学療法	必修	履修年次	1
			曜日・時限等	時間割参照	単位数	2	
			オフィスアワー	月曜・5時限 (本キャンパス)			
授業概要	近年、高度情報化社会という言葉が至る所で語られ、その中でコミュニケーション論が扱う領域はますます多様化している。本講では、そうした広範なコミュニケーション論の領域の中から、主として対人的コミュニケーションの側面を取り上げ、人間の様々な相互作用とコミュニケーションとの関連を考察する。また、部分的なものになるが、医療・看護実践におけるケアのための対話のスキル等の領域にも踏み込んでいく。						
準備学習	毎回の授業について少なくとも1時間程度の予習・復習をすること						
授業計画	回	授業項目	到達目標・学習内容				
	1	現代のコミュニケーションの課題	到達目標:現代社会で求められるコミュニケーションとは何かを理解する。 学習内容:コミュニケーションの発達史知り、コミュニケーションの意義を考える。				
	2	社会人基礎力とコミュニケーション	到達目標:社会人基礎力としてのコミュニケーション力を理解する。 学習内容:実社会で求められるコミュニケーション能力とは何かを知る。				
	3	主体性とコミュニケーション力	到達目標:コミュニケーションに必要な主体性について理解する。 学習内容:教材内容をもとに主体性について考えを深め演習を行う。				
	4	働きかけ力とコミュニケーション力	到達目標:コミュニケーションの際に働きかける力の必要性を理解する。 学習内容:教材内容をもとに働きかけ力について考えを深め演習を行う。				
	5	実行力とコミュニケーション力	到達目標:コミュニケーションに必要な実行力とは何かを理解する。 学習内容:教材内容をもとに実行力について考えを深め演習を行う。				
	6	課題発見力とコミュニケーション力	到達目標:見出した課題をもとにコミュニケーションする方法を理解する。 学習内容:教材内容をもとに課題発見力について考えを深め演習を行う。				
	7	計画力とコミュニケーション力	到達目標:計画についてコミュニケーションする方法を理解する。 学習内容:教材内容をもとに計画力について考えを深め演習を行う。				
	8	創造力とコミュニケーション力	到達目標:創造する内容についてコミュニケーションする方法を理解する。 学習内容:教材内容をもとに創造力について考えを深め演習を行う。				
	9	発信力とコミュニケーション力	到達目標:発信力を高めることでコミュニケーション力が向上することを理解する。 学習内容:教材内容をもとに発信力について考えを深め演習を行う。				
	10	傾聴力とコミュニケーション力	到達目標:コミュニケーションにおける傾聴力の重要性を理解する。 学習内容:教材内容をもとに傾聴力について考えを深め演習を行う。				
	11	柔軟性とコミュニケーション力	到達目標:コミュニケーションにおける柔軟性の大切さを理解する。 学習内容:教材内容をもとに柔軟性について考えを深め演習を行う。				
	12	状況把握力とコミュニケーション力	到達目標:コミュニケーションにおける状況把握力の大切さを理解する。 学習内容:教材内容をもとに状況把握力について考えを深め演習を行う。				
	13	規律性とコミュニケーション力	到達目標:コミュニケーションにおける規律性の大切さを理解する。 学習内容:教材内容をもとに規律性について考えを深め演習を行う。				
	14	ストレスコントロール力とコミュニケーション力	到達目標:コミュニケーションにおけるストレスについて理解をする。 学習内容:教材内容をもとにストレスについて考えを深め演習を行う。				
15	言語コミュニケーション力について	到達目標:社会生活で必要な言語コミュニケーション力を考える。 学習内容:文化庁の4要素20観点の言語コミュニケーションについて学習する。					
成績評価の方法・基準	毎時の演習課題(50%) + 中間記述テスト(20%) + 最終記述テスト(30%)						
教科書	『パラレル・ライティング入門』		入部明子		大修館書店		
参考図書							
教員からのメッセージ	演習課題用のノートを各自準備してください。						